

広島市立井口台中学校

実施日：令和5年1月16日（月）13：30～14：30

講師：外務省 大臣官房G7広島サミット事務局 外務事務官 新 広子

形式：対面

内容：講座

参加人数：83名

当日の様子



参加者の主な感想

- ・外務省は日本や日本国民の利益を守ったり、日本だけじゃなくて世界全体で問題を解決していることが分かりました。外務省のことをあまり知らなかったけど、新さんの話を聞いて外国の人に文化を教えたり、教えてもらったりして外国の人と仲良くしたり信用してもらったりして外国の人との関わりを深めていることが分かりました。
- ・G7サミットが広島で開催されることは知っていましたが、何をするのかはわかりませんでした。しかし、今日の講話を聞いて、色々なことがわかりました。例えば、G7サミットでは、世界の問題について、フランス、アメリカ、ドイツ、日本、イタリア、カナダ、イギリス、EUのリーダーで話し合い、解決策を出すことがわかりました。G7サミットは「G7」は「グループオブセブン」、サミットは「頂上、山頂」という意味も知りました。
- ・新さんのおっしゃっていた大統領からの信頼のお話もとても心に残っています。改めてどんな仕事でも尊敬の心を持って、誠実に接することが大切なんだと感じました。それと同時にたくさんの人と関わっていく外務省の方はすごいなと、とても感心しました。
- ・ケニアは暑いのではなく涼しい地域で日本でいえば富士山の半分くらいの位置に住んでいるということがわかりました。地熱発電や太陽発電などクリーン発電をしているところもすごいと思いました。エネルギーを作るときに日本産のタービンを使ってエネルギーを作っていたり、支えあってとてもよい関係なんだと思いました。
- ・G7サミットについて、少し気になっていたから、くわしい話をきくことができよかったなと思いました。家でも調べてみようと思います。